

データあり
令和7年4月1日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
担当 動物園 白木・江口
TEL 782-2111

ホンドギツネが逃げ出しました

昨日（令和7年3月31日）、東山動植物園で飼育展示していたホンドギツネの「藍」が飼育施設から逃げ出しましたので下記のとおりお知らせします。

記

1 確認した日時

令和7年3月31日（月） 午後4時頃（休園日）

2 発生場所

東山動植物園 本園 日本ゾーン ホンドギツネ舎

3 逃げ出した個体

- ・ 種 名：ホンドギツネ
- ・ 性 別：メス
- ・ 愛 称：藍（あい）
- ・ 年 齢：不明（令和7年1月に動物園内で保護）

4 飼育展示の経緯

藍は令和7年1月にタヌキの里に侵入した野生のキツネです。侵入した際にタヌキの餌を食べた形跡があり、タヌキへの被害が想定されたため、鳥獣保護管理法に基づいて保護しました。放獣しても再度侵入する可能性があることから、適切な検疫・治療を行ったうえで飼育することとしました。

5 逃げ出すまでの経緯

- ・ 昨日正午頃、飼育担当者が藍を最後に確認しました。
- ・ 午後4時頃、藍がいないことに飼育担当者が気付き、飼育施設を詳しく搜索しましたが、見つからないため逃げ出したと判断しました。
- ・ 昨日逃げ出したことを確認してから、職員が搜索を続けていますが、発見に至っておりません。

6 今後の対応

ホンドギツネは名古屋市内においても野生で生息する動物であり、特定動物（人に危害を加えるおそれのある危険な動物）ではありませんが、飼育動物につき、引き続き搜索します。なお、藍は東山動植物園内の動物病院で検疫し必要な検査と治療を行っておりますので感染症の心配はございませんが、キツネを見かけた場合はむやみに近づかないようお願いします。

また、同様の事故を防止するため、全飼育施設の一斉点検を行っています。

■ホンドギツネについて

- ・ 北半球全域に広く分布するアカギツネ (*Vulpes vulpes*) の亜種で、国内の本州、四国、九州に分布しています。平野から高地の森林や雑木林などに生息していますが、人里近くにも姿を見せることがあり、名古屋市内でも確認されています。
- ・ 毛色は赤みを帯びた黄褐色で、胸や腹のあたりは白っぽいです。北海道に生息するキタギツネより小さく、キタギツネと違い四肢の先は黒くありません。
- ・ 食べるものは、ほ乳類、鳥類、爬虫類、昆虫などの動物から果実、穀物までと幅広く、生活環境や季節によって変わります。
- ・ 1回の出産で2～7頭の子を産みますが、野生下では1歳まで生存する確率がとても低く、寿命は3～5年程度です。なお、飼育下での寿命は約10年です。

■写真



ホンドギツネ（藍）



ホンドギツネ舎